

平成17年度の決算

●一般勘定は3年続いての黒字に

が承認されました

●介護勘定はほぼ予算どおりに推移



～平成17年度収支決算概要～

一般勘定

*収入

科目	決算額(千円)
保険料	2,641,387
国庫負担金収入	1,589
調整保険料収入	42,771
繰越金	47,942
財政調整事業交付金	62,029
雑収入	17,927
介護勘定受入	49,925
合計	2,863,570
経常収入	2,660,903

*支出

科目	決算額(千円)
事務費	12,247
保険給付費	1,419,653
〔法定給付費〕	1,393,837
〔付加給付費〕	25,816
拠出金	954,072
〔老人保健拠出金〕	586,585
〔退職者給付拠出金〕	367,487
保健事業費	75,857
財政調整事業拠出金	42,472
連合会費・還付金・その他	2,644
合計	2,506,945
経常支出	2,464,473
経常収支	196,430

介護勘定

*収入

科目	決算額(千円)
介護保険収入	235,265
繰越金	4,720
合計	239,985

*支出

科目	決算額(千円)
介護納付金	184,610
介護保険料還付金	77
一般勘定繰入	49,925
合計	234,612
収支差引額	5,373

残金処分

*一般勘定

処分項目	決算額(千円)
別途積立金	155,936
繰越金	200,397
財政調整事業繰越金	292
合計	356,625

*介護勘定

処分項目	決算額(千円)
法定準備金	5,273
繰越金	100
合計	5,373

平成17年度決算は、収入面では被保険者が増加したこと、支出面では老人保健拠出金が減少したこと、収支差引3億5663万円、経常収支差引1億9643万円となりました。

健保組合は、事業主と被保険者であるみなさまから納めていただく保険料を主な財源として事業を運営しています。17年度はそのものになりましたが、被保険者数が前年比108.3%と大きく増加しましたので、17年度の保険料収入は前年比99.7%とほぼ横ばいでした。

保険給付費は、医療費である法定給付費と組合独自の付加給付が支出されます。法定給付費は保険料収入の52.8%をしめていますが、被保険者1人当たり前年対比は95.2%と減少しています。

高齢者および退職者の医療費を賄うための拠出金が、保険料収入の40

%以上となるのが一般的な傾向です。当健保組合では、退職者への拠出金は増加しましたが、その大部分を占める老人医療への拠出金が大幅に減少しましたので、保険料に占める拠出金の割合が昨年の38%に続いて36%と減少しています。

介護勘定は、平成16年度に一般勘定から借用した4993万円を返戻するために保険料率を千分の4.4引き上げましたが、ほぼ予算どおりに推移しました。

おかげさまで今年度も黒字決算で終わることができました。当健保組合では、事業運営の効率化等で財政のさらなる安定に向け努力するとともに、保健事業等を通じてみなさまの健康づくりを積極的にサポートいたします。引き続き健保組合へのご支援をよろしくお願いいたします。また、10月から本格的に実施される医療制度改革の動向にもご注目ください。

当健保組合の平成17年度決算が、先の組合会で可決・承認されました。概要をご報告します。

1人当たりでみる収支（一般勘定）

